

大船渡湾内観測結果(No.9)

“今月の話題”

湾内の水温は9～11℃台であり、例年よりも1～3℃程低くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、湾中央部と比べて湾奥部や湾口部が若干高めでした。

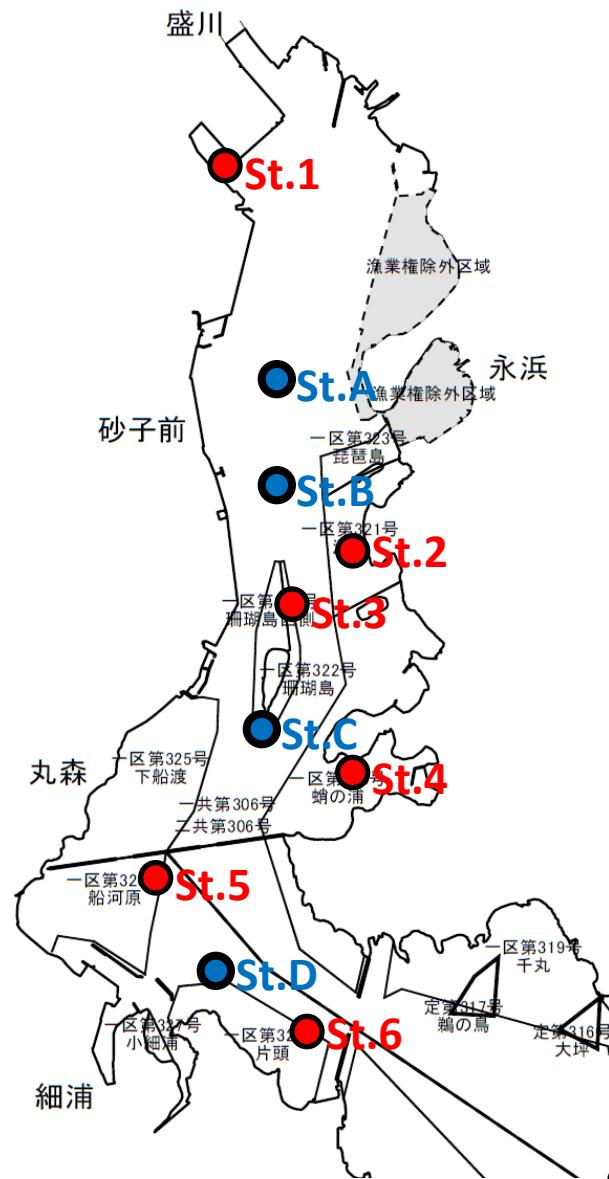
12月19日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は9.0～14.0mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-0.4～+3.5mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが10.0～11.5℃、水深10mが10.1～11.5℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが-2.6～-0.7℃、水深10mが-3.3～-1.7℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成29年12月19日					
観測時刻		11:34	11:48	11:16	11:00	10:49	10:30
天候		曇					
気温(°C)		5.6					
風向		-					
風力		0					
水深(m)		9.2	24.7	27.3	18.9	25.8	37.9
透明度(m)		9.0	11.0	11.0	14.0	14.0	13.0
水色		6	6	6	5	5	5
水温(°C)	表層0m	9.7	9.8	9.5	9.9	9.6	11.5
	水深2.5m	10.9	10.5	10.6	10.0	10.4	11.5
	水深10m	-	10.9	10.8	10.1	11.0	11.5
	海底上1m	11.1	11.0	11.0	10.2	11.0	11.4
塩分	表層0m	31.7	32.9	32.6	33.0	32.5	33.8
	水深2.5m	33.4	33.5	33.4	33.4	33.4	33.8
	水深10m	-	33.6	33.6	33.5	33.7	33.8
	海底上1m	33.6	33.7	33.7	33.5	33.7	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	93.0	93.5	93.5	93.1	93.5	94.2
	水深2.5m	92.5	93.3	93.4	92.8	92.8	94.8
	水深10m	-	92.6	92.4	92.7	92.8	94.8
	海底上1m	90.4	91.4	91.7	91.6	92.9	94.2
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.7	0.7	0.6	0.7	0.6	0.9
	水深2.5m	1.1	0.7	0.9	0.6	0.6	1.0
	水深10m	-	1.0	0.9	0.7	0.7	1.0
	海底上1m	1.1	0.9	0.7	0.7	0.8	1.1



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

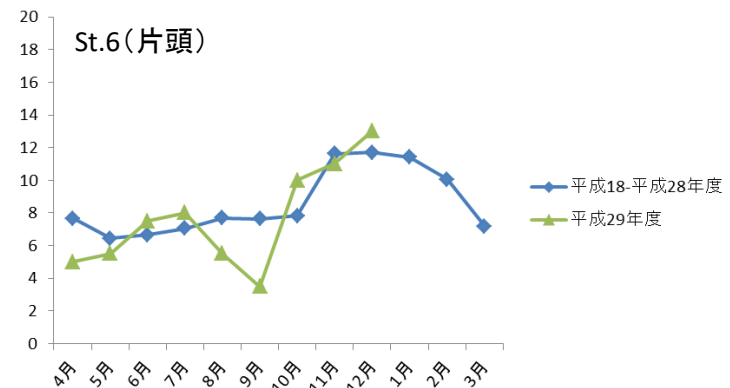
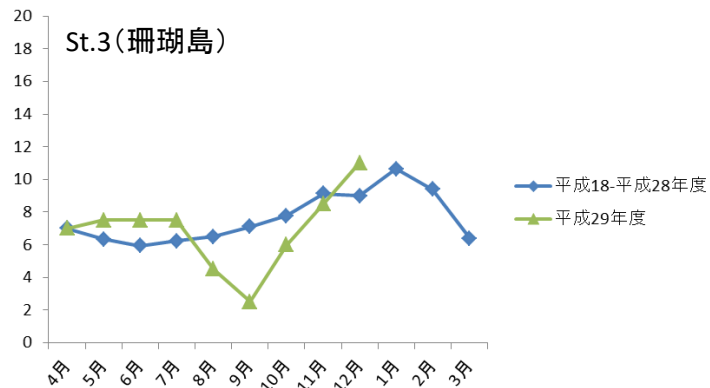
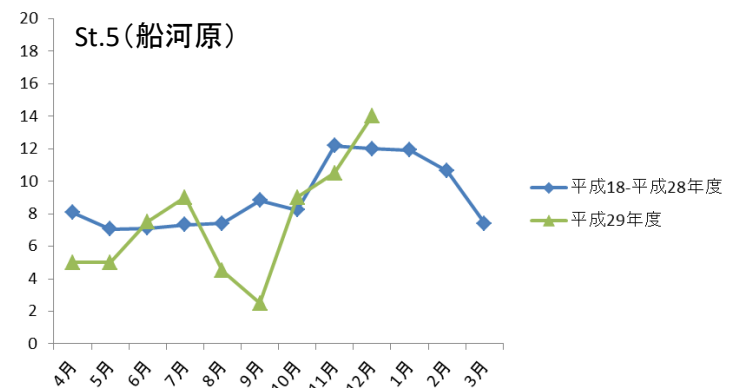
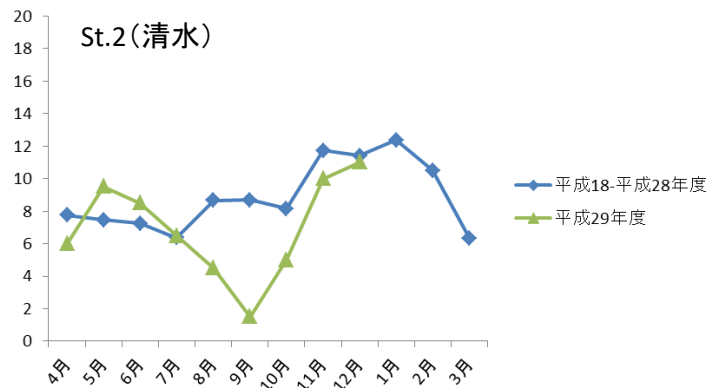
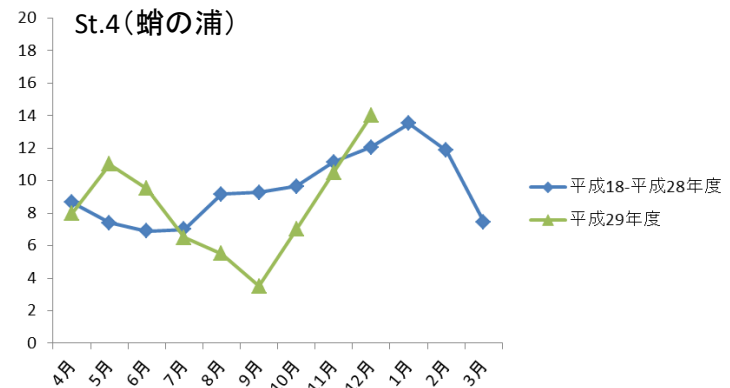
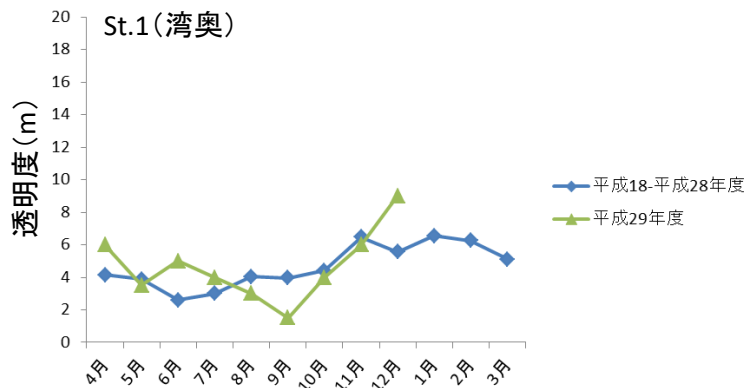


図2 透明度の推移

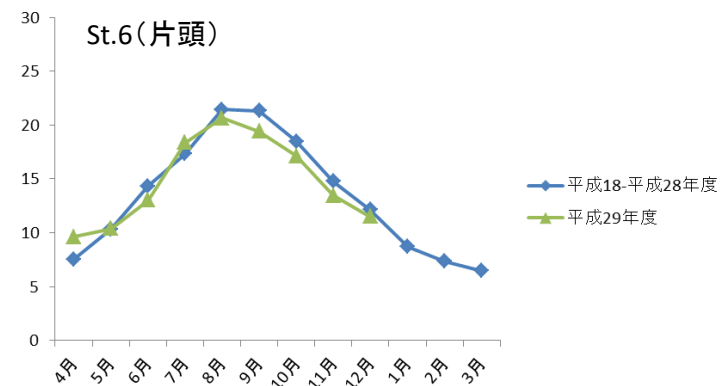
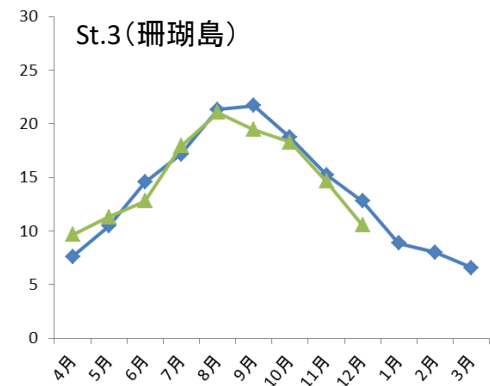
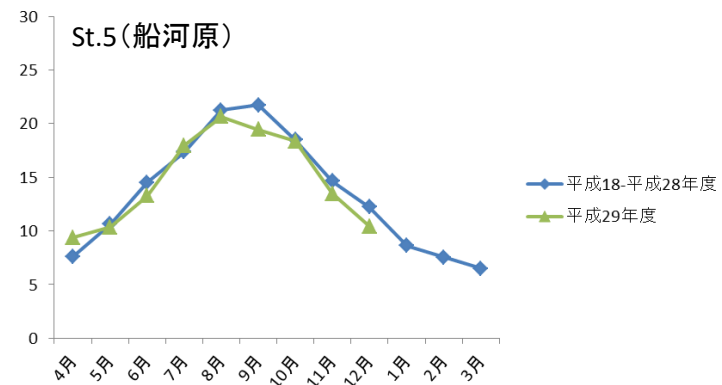
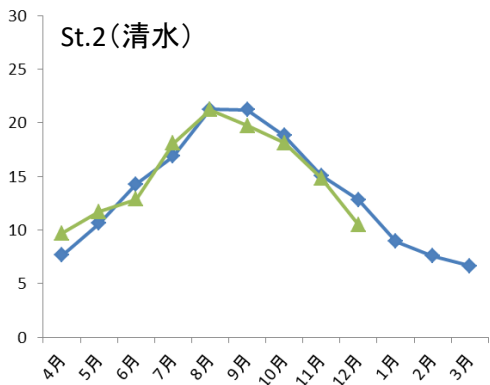
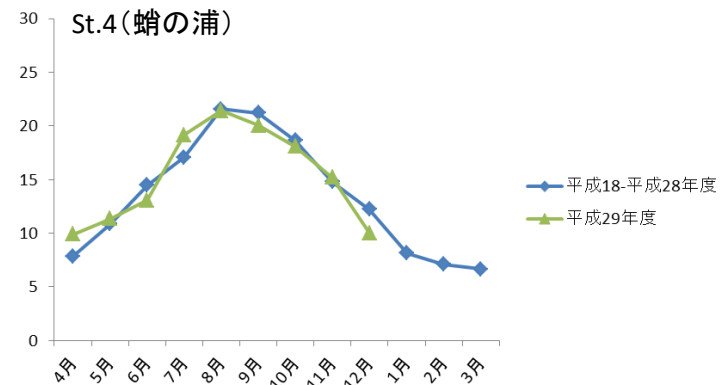
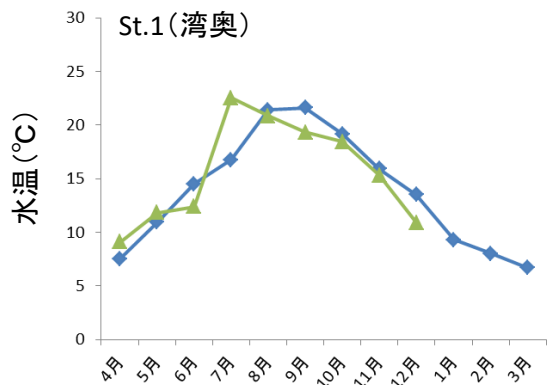


図3 水深2.5mの水温の推移

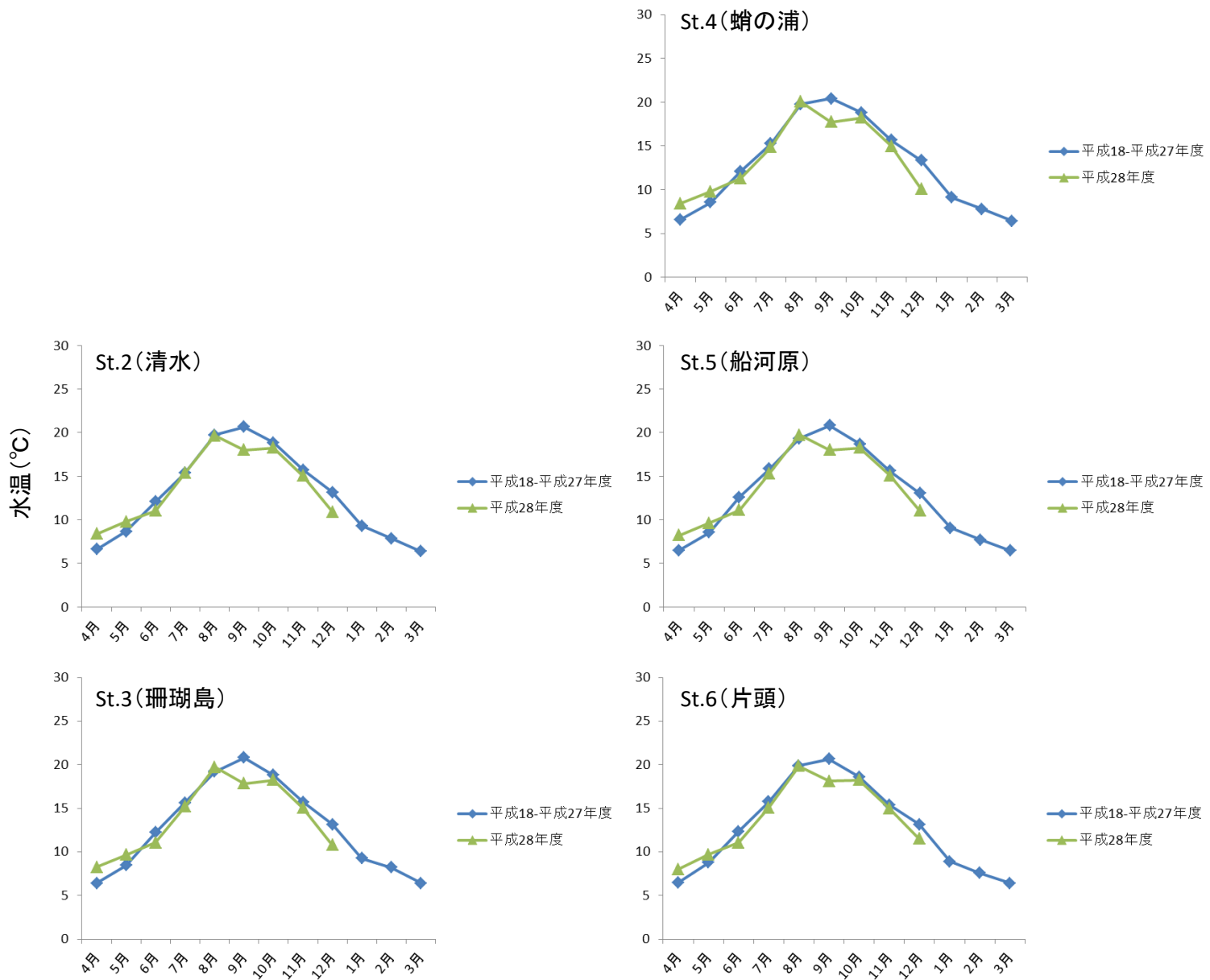


図4 水深10mの水温の推移

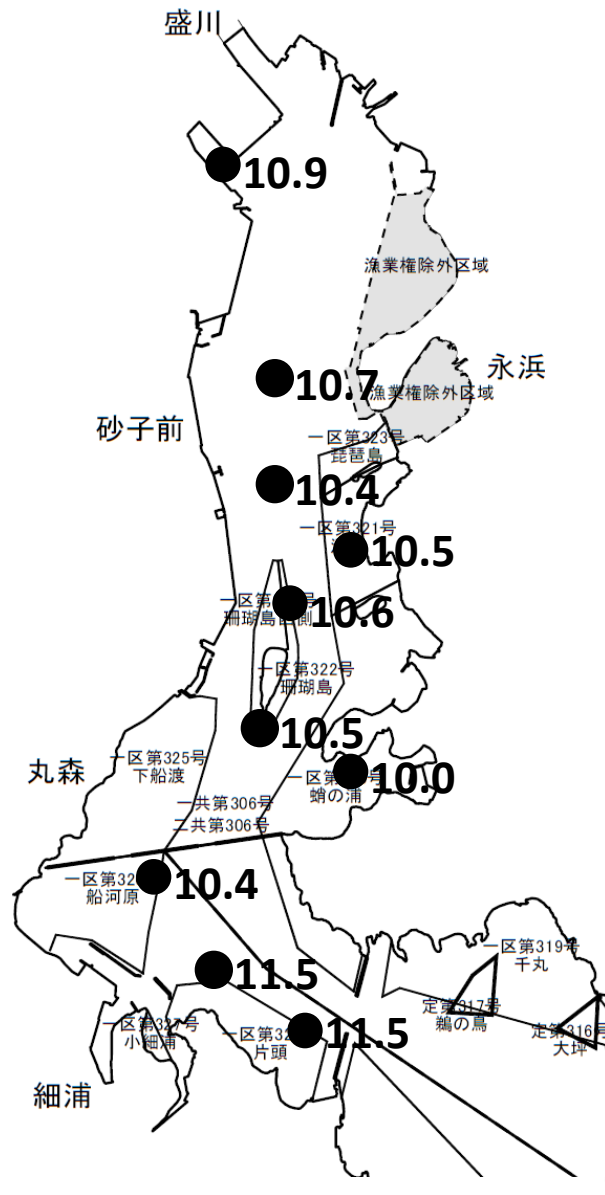


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

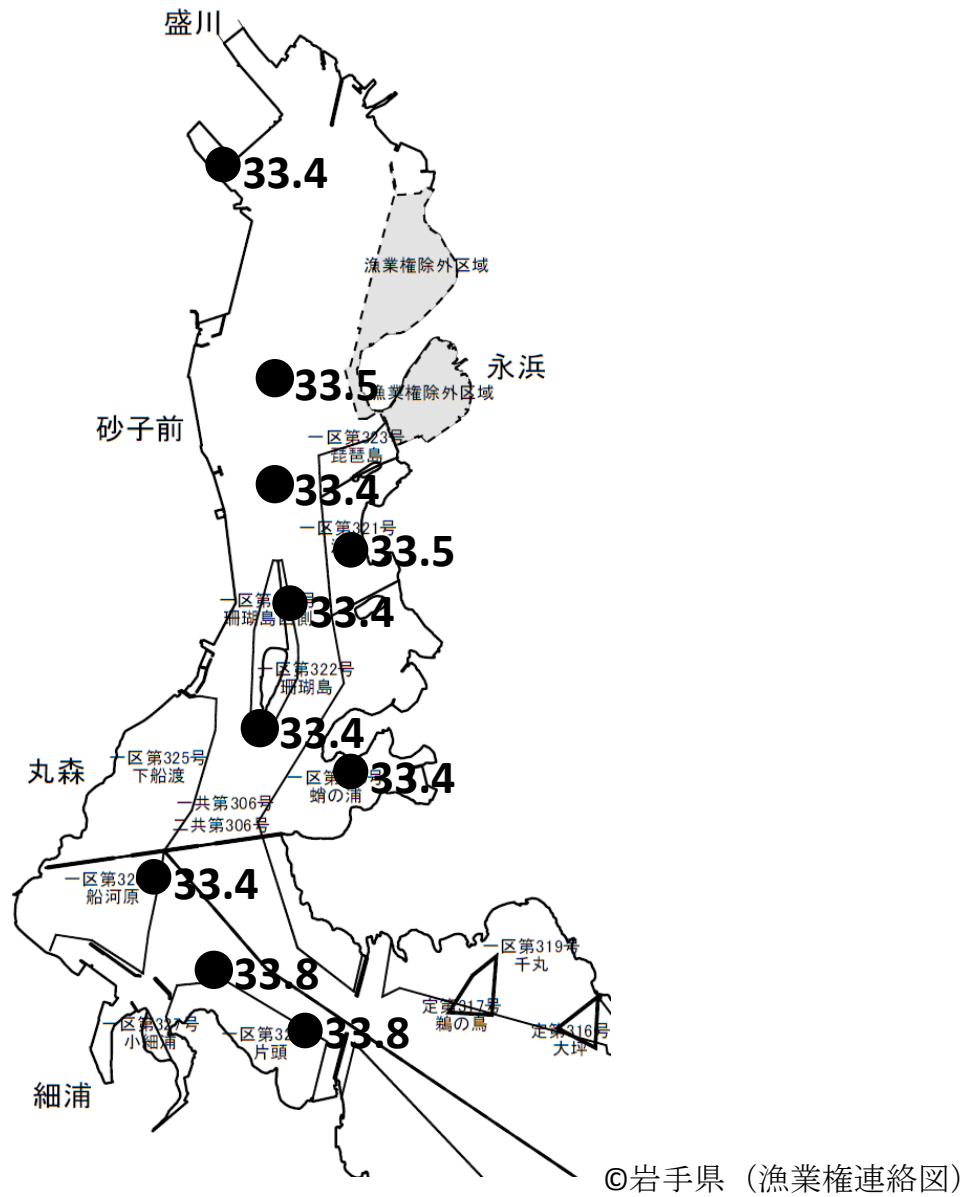


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

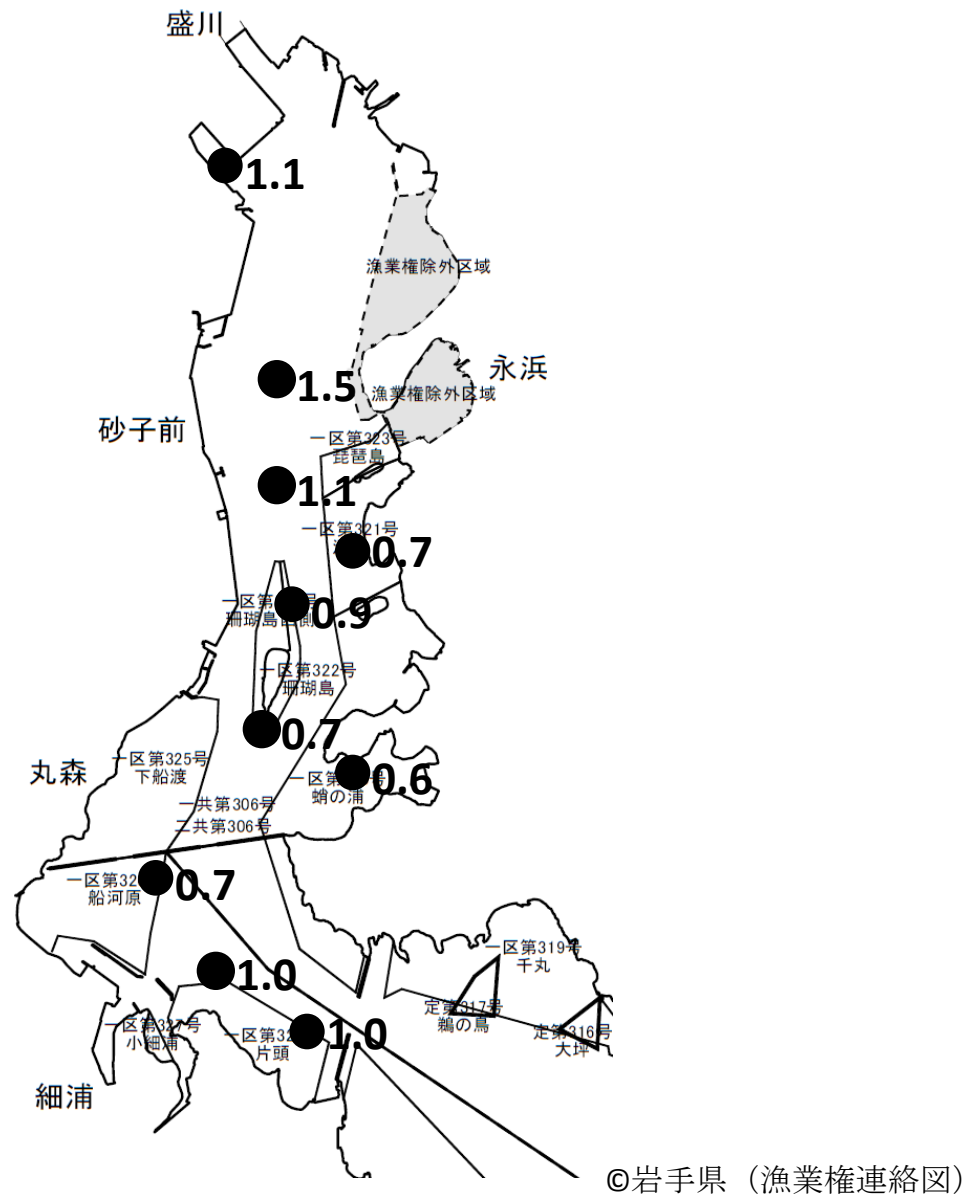


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。